

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成28年03月25日

計画の名称	赤穂市における安全・安心で快適な住環境と魅力ある生活環境の創造（第2期）（防災・安全）													
計画の期間	平成28年度～令和2年度（5年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	赤穂市													
計画の目標	赤穂市尾崎地区内の密集住宅市街地において、住民と行政の協働により安全・安心で快適な住宅地の形成と、魅力ある生活環境を創造する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		894	A	894	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値	最終目標値 (R2末)
1	尾崎地区密集市街地区域内の消防活動困難区域解消率を95.6%(H28)から98.0%(R2)に増加する。 尾崎地区密集住宅市街地区域内の消防活動困難区域面積に対し、地区内整備により解消した消防活動困難区域面積により消防活動困難区域解消率を算出する。 (消防活動困難区域解消率) = (解消した消防活動困難区域面積) / (消防活動困難区域面積) (%)	96%	%	98%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
兵庫県強靱化計画に基づき実施される要素事業：A1								

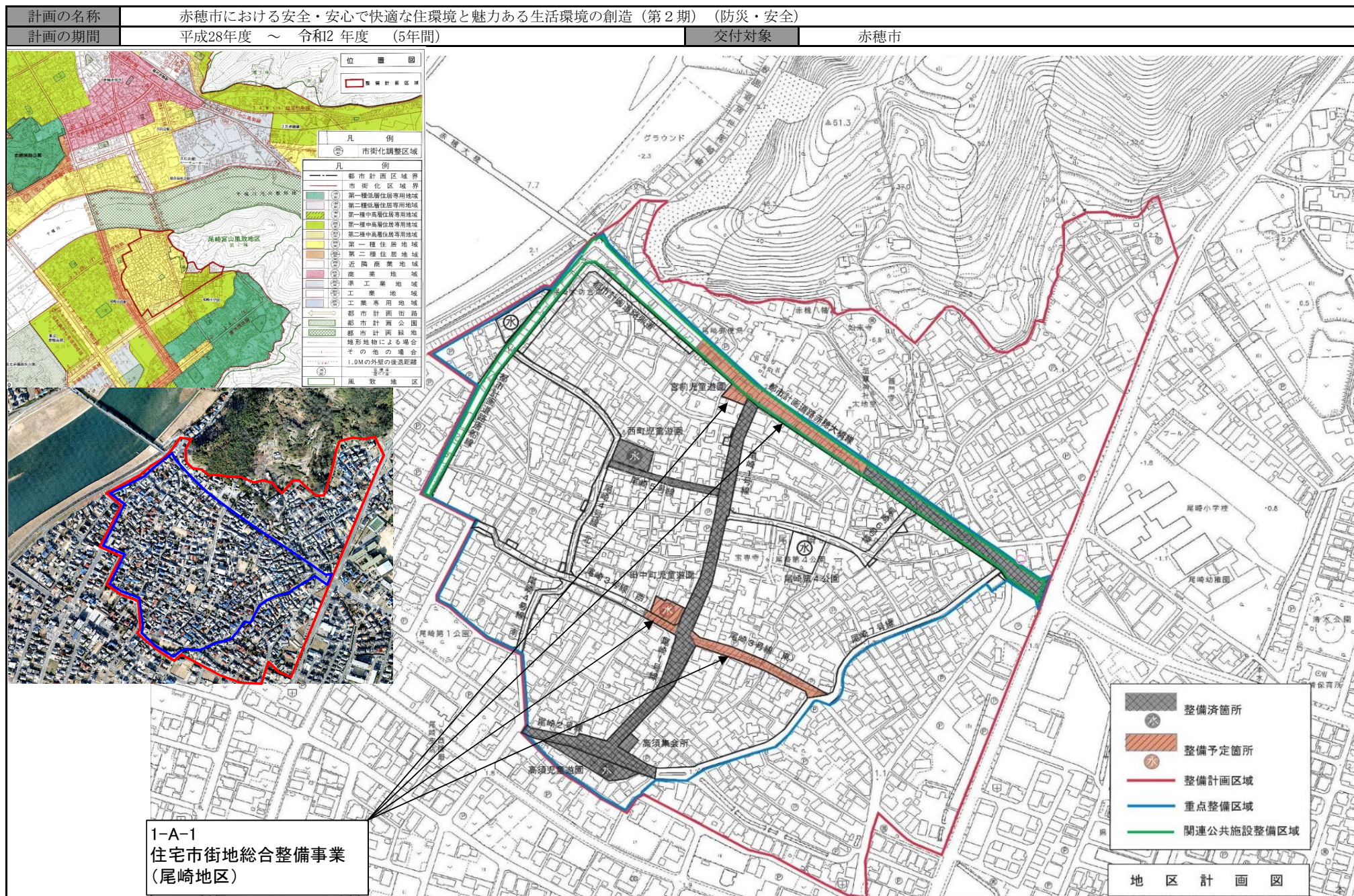
A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R2			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	赤穂市	直接	赤穂市	—	—	住宅市街地総合整備事業(尾崎地区)	地区公共施設(道路、児童遊園等)、関連公共施設(道路、児童遊園等)	赤穂市尾崎地区	■	■	■	■	■	894		—
												小計						894	
											合計						894		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29	H30	H31	R02
配分額 (a)	42	76	54	61	93
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	42	76	54	61	93
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	0	20
支払済額 (e)	42	76	54	41	82
翌年度繰越額 (f)	0	0	0	20	31
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	1
不用額 (h = c+d- e- f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0	0	0	0	0.88
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考図面) 地域住宅支援



## 事前評価チェックシート

計画の名称： 赤穂市における安全・安心で快適な住環境と魅力ある生活環境の創造（第2期）（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①上位計画等との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の住宅ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。	○
I. 目標の妥当性 ③地域の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
I. 目標の妥当性 ④緊急性の高い課題を的確に取り組み内容となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ①事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ②十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③事業効果は数値、指標等を用いて客観的に示されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④地域の実情に応じたきめ細やかな事業が盛り込まれている。	○
III. 計画の実現可能性 ①事業熟度が十分である。	○
III. 計画の実現可能性 ②計画内容に関し、住民に対する説明等が行われている。	○
III. 計画の実現可能性 ③計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。	○